

PRESS RELEASE

2019年11月11日

各 位

東京都千代田区外神田四丁目14番1号

株式会社アクセル

(コード番号6730 東証第1部)

自動運転 OS の業界標準を目指す国際業界団体 「The Autoware Foundation」に加入

株式会社アクセル（本社：東京都千代田区、代表者：松浦一教）は、自動運転 OS の業界標準を目指す国際業界団体「The Autoware Foundation」（所在地：東京都文京区、代表理事：加藤真平、以下 AWF）に加盟することを発表します。AWF は株式会社ティアフォー、米国 Apex.AI、英国 Linaro によって設立された国際業界団体であり、誰でも無償で使える自動運転 OS “Autoware” の普及を通じて、国や企業を問わず自動運転の早期実現が促されるよう参画企業が一丸となって実用化に取り組んでいます。

アクセルは “Autoware” の普及に中核的な役割を果たしているティアフォーとの協業により、2017年より自動運転に最適な専用システム LSI（ヘテロジニアス Soc）に関する研究開発を進めています。現在は N E D O（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が公募する事業のなかで、ティアフォーに加え、東京大学、埼玉大学と連携して、完全自動運転に向けたシステムオンチップとソフトウェアプラットフォームの研究開発に取り組んでいます。

この度の AWF への加盟によって、アクセルは自動運転に関する先端技術や最新の業界情報を入手することが可能になるとともに、自動運転の社会実装に取り組む多くの企業と緊密な関係を構築することで、業界内でのプレゼンス向上を図っていきます。

今後もアクセルが培ってきた高度な LSI 設計力や AI・機械学習に関する知見を生かし、完全自動運転に向けたヘテロジニアス SoC の開発を通じて、“Autoware” の一層の普及、さらには次世代スマートモビリティの社会実装に貢献していきたいと考えています。

「The Autoware Foundation」の概要はこちらをご参照ください。



THE
AUTOWARE
FOUNDATION

<https://www.autoware.org/>

アクセルについて

株式会社アクセルは、グラフィックス LSI、圧縮伸長技術の研究開発を強みとするファブレス半導体メーカーです。特に独自開発の圧縮技術を付加価値としたグラフィックス LSI は、高度な画像処理能力が求められるパチンコ・パチスロ機市場で圧倒的なシェアを誇っています。また、差別化を担う要素技術の研究から、製品化を実現するハードウェア、ソフトウェア開発力まで総合的に有することを強みとして、機械学習（AI）、ミドルウェア、ブロックチェーン、セキュリティの4分野における事業にも注力しています。

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクセル (<https://www.axell.co.jp/>)

IR・広報チーム 電話 03-5298-1670 E-mail kouhou@axell.co.jp

以上

-
- 記載されている会社名、製品等は、一般に弊社及び各社の登録商標または商標です。